



最近韓国番組に人気が集まっているようです。事実私もチャングムや、イサンにしっかりとハマっていました。うっかり見逃すことがあると、待ち焦がれた一週間が何とも虚しく思えたものです。

なぜそれほどまでに韓国映画に魅力が感じられるのか、それほど深く考えるに値しないことなのですが、日本のテレビ番組がつまらなくなったことは大きな理由の一つです。チャンネルを回せば、お笑い芸人やいわゆる芸能人のクイズ番組か、料理に旅行。ドラマも殺人がらみでワンパターン。おまけにコマーシャルの数珠つなぎ。余韻に浸る暇もなく、思考も途切れがち。イライラもつづります。それに比べ韓国番組はBSで観ることもあってか、コマーシャルもなく継続的に浸ることができ、ドキドキ感や、期待感も持て満たされた気持ちになるのです。こんなこと思うの私だけ？そう

## 人生の節目談義

### 年輩いた母に感謝

#### そして妻にありがとう



瑞穂市

H.Mさん

私の母は今年九十三歳になりました。数年前から歩くことができなくなり、今では寝たきりですが、週に四回「デイサービス」でお世話になっていま

す。  
母は昭和二十年七月に、父が戦争に行き戦死してしまいましたので、それから私たち「当時小学校一年生の私と、わずか三歳の弟を抱え悲しみのどん底に落ち、苦勞に苦勞を重ねて育て上げてくれました。さらにその後弟が四十二で急に世界を去ってしまい、母は三重の苦しみを味わうこととなってしまったのです。しかし、そんな苦しみを乗り越え頑張ってきたくれました。私は今年で七十二歳になりますが、今改めて母のお陰があったから「そよよ、しみじみ」と感じ、感謝しています。

また、その母を日常介護してあげている妻は、時にはヘッドで訳のわからない事を言っていて感情的になる母に手を焼いている場合もありますが、それでも献身的に世話をしてくれている妻に感謝し、心から「ありがとう」を言いたい。

その妻はその上に、息子夫婦達も勤めがあるので孫一人(五年生の女の子)と五歳の女の子の面倒を見ている。幸いにも車の運転ができるので、保育園の送迎もやっております。

こんな状況で今は妻と二人で行くにしても、短い時間しか取れないので、ひと段落したら、ゆっくりと二人で温泉旅行にでも出かけようなあと、話合っている次第です。

## 古布を活かす楽しさに魅せられて

瑞穂市

Y.Mさん

玄関を入ると、まず目に飛び込んでくるのは見事な大作。キルティングを始めて15年。今では講師として活躍中。さすがに素人の私が見ても感動する作品だ。



洋子さんは、ご主人と義母との三人家族。忙しい合間をぬって作品制作に精を出す。洋子さん専用の作業場に入れていただくことができたが、発想が豊かで見ていて楽しくなる小物も多く、ちょっとしたギャラリー気分にもなる。ちょうど制作中の作品があった。



御主人の不用になったネクタイを使ったクレージーキルトと呼ばれるものだ。



4月5日(火)～10日(日)まで所属する「マザーエム・キルトーズ」代表嶋道子 作品展第42回が県美で開かれるそうで、今はその発表準備に忙しい



そうだ。(こんなふうにして作るんです。と三浦さん)

みんなの力で、の願いを込めて。

光受寺に手造り賽銭箱届く。

今年の2月中旬光受寺に賽銭箱が届いた。名前も明かされない奇妙な方からのご寄進でした。



本堂内まで上げられない人にも便利になりました。

光受寺の改修工事着工が決定し、今皆様からの浄財を勧募させていただいておりますが、皆様おひとり一人の、力の結集があつて初めて意味のある改修事業になるのではと思っています。労力も含めてすべてのことが、「ありがたいご寄進であります」。まさに「かげの力が働いていること」。「おかげさま」を実感させられました。

今、光受寺の梅の花も満開となり、多くの方が訪れてくださいます。心ある方からのお賽銭も、今回の改修工事の一部として、しっかり光受寺を支えてくれることでしょう。

## 掲 示 板



鹿兒島紅梅も

きれいに咲いています。

二十一日(春分の日)は 春季永代経

法話(午前) 里雄敬意師 楽しく分かりやすいお話です。

(午後) 住職

二月の勉強会はこんなことを学びました。

中村久子さんの「ある ある」のビデオ観賞会を通して、私たちの感謝の思いの点検と再確認をしました。

自分にとって都合のよいことには感謝の心も起こるが、都合の悪いことには感謝どころか、恨み辛身ばかりではありませんか？

中村さんは両手、両足のない自分でありながらも、感謝の人生を歩まれた方でした。

三月の勉強会は「しだれ梅フライトアップ」の日時と重なり、お休みとなります。

「しだれ梅フライトアップ」は「お天気が良ければ予定通り実施します。初めてのことですが、住職の今までの経験から皆様にぜひ見て、感じていただきたい光受寺境内の1つの姿です。

香りも夜の方がより香り高く感じられ、幽玄の世界を味わっていただくのができるのではないかと思っています。ぜひお越しください。